

港区学校教育推進計画（素案）に寄せられた区民意見について

報告内容

港区学校教育推進計画（令和3年度～令和8年度）令和5年度改定版（素案）に寄せられた区民意見について報告します。

1 区民意見募集（パブリックコメント）

(1) 募集期間 令和5年11月25日（土）から12月25日（月）まで

(2) 人数・件数

	人数	件数
郵便	1人	4件
インターネット	1人	3件
FAX	0人	0件
持参	1人	1件
合計	3人	8件

※件数は、複数の内容を含んだ区民意見を分割した後の件数です。

2 区民説明会での参加者意見

区民説明会は、教育分野の5計画合同で2日間実施しました。

(1) 開催概要 令和5年12月8日（金）午後6時から 生涯学習センター
12月10日（日）午前10時から 港区役所

(2) 参加者数・件数

	人数	件数
12月8日（金）	0人	0件
12月10日（日）	3人	8件
合計	3人	8件

※件数は、複数の内容を含んだ区民意見を分割した後の件数です。

<参考>

港区学校教育推進計画（素案）説明動画視聴回数 87回

令和6年1月10日

教育委員会報告資料 No. 5—2

港区学校教育推進計画（素案）に寄せられた区民意見

No	区民意見	区分
1	子どもが焦らず選択肢を広げられるよう、また、「将来の夢」は職業と認識しないよう、小中高の教諭は子どもに「将来の夢」を伝えないでください。	郵便
2	子どものためにもインターネット上にある性的な広告を停止してください。	郵便
3	給食費を無償化すべき。	郵便
4	授業時間を8時間から6時間にした方が良くはないか。	郵便
5	子供が特別支援教室のお世話になっています。港区はこうした特性のある子に対する支援が充実していて本当にありがたいです。学校公開などに行くと、支援が必要そうなのに支援に繋がっていないお子さんを見かけることがあり、支援を受けるようになるまでの道のりについてもう少し工夫できないだろうかとも思います。	インターネット
6	特性のある子やその保護者、そうした子と共に学ぶ子供たちがより快適な学校生活を送れるよう、そして多様性の理解やいじめ防止のため、発達特性に関する啓発や、より相談しやすい場の提供についてご検討いただけたらと思います。	インターネット
7	就学前は「ばお」での集まりや勉強会などで相談したり、悩んでいるのは1人ではないと実感できたのですが、就学後はそうした機会がほとんどなく、しばしば孤独を感じます。就学後もなにかフォローがあれば大変心強いです。	インターネット
8	学校の先生がもっと、いろんな場所を視察した方がいい。決められた場所だけ見るのではなく成果を出している現場を自由に見るべき。	持参
9	タブレットの1人1台配付やコロナ禍によって、スクリーンタイムが増加している。ICT活用、プログラミング教育も大切だが、様々な懸念（視力の低下、神経の高ぶりによる不眠とそれに伴う成長の遅れ）がある。	区民説明会
10	不登校特例校を港区でも設置していくということか。	区民説明会
11	不登校特例校とはどのようなものか。	区民説明会
12	不登校特例校は23区では他にどこが設置しているのか。	区民説明会
13	性的マイノリティであることを理由として不登校になる子もいる。不登校特例校では、多様性などの教育も大切と考えているが、どのように取り組むのか。	区民説明会
14	英語が話せることが「国際人」ではない。翻訳ツールもある中では単なる語学力ではなく、様々な文化を学ぶことや多様性を認めあうことが重要であり、それこそが国際人育成ではないか。港区として「国際人」についてどのように考えているか。	区民説明会
15	中学生の海外修学旅行について、行けない子・行きたくない子はいないのか。	区民説明会
16	シンガポールより長野での自然体験（農業等）の方が良いという子どもの話も聞く。海外に行きたくない子にはそういう選択肢があってもよいのではないか。	区民説明会